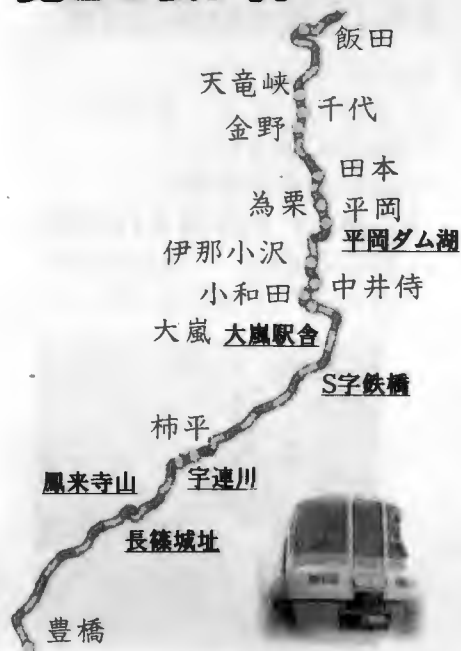


見どころガイド



長篠城址

(鳥居～長篠城駅間)
戦国時代に「長篠の戦い」が行われた場所です。現在、城は残っていませんが、当時の様子を知ることができる長篠城址史跡保存館があります。

豊川と宇連川(うれがわ)が合流する断崖の上にあります地形を巧みに利用されていた自然の要塞とされています。



(川の合流点)

鳳来寺山・鳳来寺

山の高さは695m。
鳳来寺は麓から1425段の石段を上った先にあります。
健康志向の皆さま、リフレッシュのために一度訪れてみてはいかがでしょうか。



(鳳来寺山の石段)

宇連川

(湯谷温泉～三河榎原駅間)
車窓に見える川
“宇連川(うれがわ)”
川底に特徴があり、川底が一枚の板を敷き詰めたように見えることから別名
“板敷川(いたじきがわ)”とも呼ばれています。



急行秘境駅号の歩み

2010年 GWより好評だった「飯田線秘境駅探訪ツアー」の団体臨時列車が「飯田線秘境駅号」として運行されたのが始まりです。

2017年 飯田線は全線開通80周年を迎え、秘境駅号でも専用ヘッドマークを掲出。

2019年 飯田線秘境駅号はクールジャパンアワードを受賞しました。



JR東海
秘境駅号のページ

S字鉄橋

(城西～向市場駅間)
正式名称「第6水窪川橋梁」
対岸へ行くと見せかけて、再び同じ岸側に戻る珍しい鉄橋です。



大嵐駅舎

静岡県浜松市に位置しているが川の対岸は愛知県豊根村。
東京駅、丸の内駅舎をモデルにして造られています。



平岡ダム湖

天竜川の雄大でゆったりとした流れの横を走行します。
時間帯や条件が整うと、周りの景色が水面に鏡のように綺麗に映る景勝地で、秋の紅葉など四季折々の景色がお楽しみいただけます。



(対岸からの景色)

「秘境駅」とは

山中などにあり、駅周辺に人家や人の気配が全く感じられず、鉄道以外での到達が難しい駅のことを言います。鉄道愛好家の牛山隆信氏が自身のホームページで秘境駅ランキングを作成して紹介しており、秘境駅ランキングは2022年6月5日現在の牛山氏のホームページによるものです。
(<http://hikyoueki.sakura.ne.jp/index.html>)

※写真・イラストは全てイメージです
※飯田線秘境号のご乗車でご覧いただけない景観・施設も含まれています。
※このガイドの掲載情報は2022年3月1日時点の情報です。

伊那小沢駅

秘境駅ランキング61位

駅前にポツンと設置された公衆電話が何とも言えない郷愁を誘う駅。ホームからは天竜川、アーチ橋の水神橋が見え、信州で最も早くサクラの便りを告げる「カンザクラ」で有名な駅。



柿平駅

秘境駅ランキング170位

1950年に開業、2019年秋の急行「飯田線秘境駅号」として初めて停車(下りのみ)しています。



小和田駅

秘境駅ランキング3位

日本有数の秘境駅、小和田駅かつては駅周辺に集落があったが佐久間ダムによって水没。少しづつ人口が減少し、秘境駅と呼ばれるようになりました。一番近い集落まで、徒歩一時間以上かかる。駅近くに朽ち果てた、廃車のミゼットがあります。



中井侍駅

秘境駅ランキング10位

飯田駅寄りの出口から20分ほど上っていくと、傾斜約30度の斜面に張り付くように11軒のお茶農家が点在しています。「一番茶」のみ摘まれ出荷されることから、「幻のお茶」、「幻の味」と言われています。



為栗駅

秘境駅ランキング13位

駅に通じるつり橋は幅が狭く、車では渡れません。橋を渡った先の「信濃恋し」という場所は、ダム完成前、天竜川の急な流れが岸の岩とぶつかりあったことで川の流れが一旦長野県側へ向かって押し戻すように流れています。



田本駅

秘境駅ランキング5位

田本駅周辺にはかつて集落がありましたが、今はダム湖底に沈んでしまい、駅だけが取り残されています。駅に通じる道は2本あり、徒歩以外で駅へ行くことはできません。



金野駅

秘境駅ランキング6位

「駅名標に触ると金運が上がる」とささやかれる駅です。



千代駅

秘境駅ランキング20位

「駅名標に触ると長生きできる」と噂されています。

